

4. 鳥類

滋賀県では247種の鳥類の生息が記録されているが、少なくともその70%にあたる172種が琵琶湖周辺で生息していることが確認されている。

このうち主なものは、シギ科30種、ガンカモ科26種、ヒタキ科16種、ワシタカ科10種、カモメ科9種、サギ科8種、チドリ科8種となっている。特に秋から冬にかけてはカモ類、マガン、ヒシクイガン、コハクチョウ、オオハクチョウなど、様々な種類の水鳥が湖上で観察される。

湖岸ではユリカモメ、セキレイ類などが多くみられる。またヨシ群落はオオヨシキリ、バン、カイツブリなどの営巣地となっている。

淀川下流のヨシの群落では都心にもかかわらず、冬期にはカモ類が多く見られるなど、水鳥の生息地となっている。



【アオサギ】



【マガモ】